

ICTで授業をDX!

学年 小学校6年 教科 体育 など

自分の考えを共有!!ロイロノートでクラスから学年に!!

使用するアプリケーション等

- ・カメラ機能
- ・ロイロノート

単元・題材 器械運動「跳び箱運動」

本時の目標 技のポイントやコツを基に自分の課題を見つけ、複数の場から自分の課題に適した場を選んでみる。(思考・判断・表現)

ICTを活用することで できること

- ・前時の学習を振り返る際に蓄積した動画を見返したりデジタルデータを確認したりすることで、手本と自分の動きを見比べることができる。
- ・ロイロノートを使うことで、クラスだけでなく、学年の友達と良い動きを確認することができる。また、そこからヒントを得て、自分と課題と向き合うことができる。
- ・振り返りを行う際は自分の動画を添付させ、振り返りを入力させる。そして、次時につなげるように教師がコメントを書き、自己の課題設定や児童の学習意欲を高めることができる。
- ・動画が残っていると教師は評価を見取ることができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①黒板に掲示してある授業の流れや見本を参考に自己の本時の課題を持たせる。
見本のコツやポイントを参考に、自分に合う場の見当をつけさせる。



2 展開

- ①あいさつや健康観察を行い準備運動をする。(よく使う部位を中心にストレッチを行う。)
- ②サーキットを行い、跳び箱運動に必要な動きをする。(30秒×4を2セット)
- ③本時のねらいを確認して、自分の課題設定を行う。(ワークシートに記入させる)

めあて 自分なりコツ(ポイント)を見つけ、できそうな技に挑戦しよう!!

- ④技の見本を見ながら、自分ができているところにチェックを入れる。
また、友達のアドバイスをワークシートに記入させる。
- ⑤チームで片付けを行い、振り返りをワークシートに記入させる。

授業計画【ねらい】
【8時間】

- ①学習の見通しをもち、安全に気を付けて協力して運動しよう!!
- ②自分の体を知り、何が得意か確かめよう!!
- ③自分なりコツ(ポイント)を見つけ、できそうな技に挑戦しよう!!
- ④友達と技を見合い、チャレンジグループで壁を乗り越えよう!!①
- ⑤友達と技を見合い、チャレンジグループで壁を乗り越えよう!!②
- ⑥美しさを求め、自分のできる技を極めよう!!①
- ⑦美しさを求め、自分のできる技を極めよう!!②
- ⑧みんなで認め合い、発表しよう!!

3 まとめ

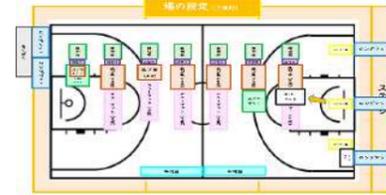
- ①集合し、ケガの確認をする。その後、着席する。
- ②全体で振り返りを行い、本時のねらいが達成できたか確認する。
次時の目標を立てさせる。
- ③ワークシート(体育カード)を担任のところに提出する。



DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ①前時の自分の動きを動画で確認し、本時の課題を持たせる。
●前時の友達のコツやポイントを参考に(ロイロノートで共有する)、自分に合う場の見当をつけさせる。
- ②同じ課題を持つグループ(挑戦する技)で、並んでおく。



←場の設定を見ながら自分に合った場を見つける。



大型テレビに映す。

2 展開

- ①あいさつや健康観察を行い準備運動をする。(よく使う部位を中心にストレッチを行う。)
- ②サーキットトレーニングを行う。(大型テレビにワークシートを映す)
●主運動に必要な動きをする。(30秒×4を2セット)
●音楽をかけて教師の笛の合図で移動する。

子供たちのやる気が高まるようなアップテンポな曲を流す。 → YouTubeなど

サーキットトレーニングの場の図



- ③本時のねらいを確認して、自分の課題設定を行う。(端末に入力させる)

めあて 自分なりコツ(ポイント)を見つけ、できそうな技に挑戦しよう!!

- ④友達と撮影しながら、技の見本と比べ、自分なりのコツ(ポイント)を見つける。
●自分なりのコツ(ポイント)をロイロノートのワークシートに入力して提出箱に提出する。
また、友達が入力したコツ(ポイント)を見ながら、自分も挑戦する。
- ⑤チャレンジタイムを設け、自分がみてほしいところを友達に伝え、挑戦する。
- ⑥チームで片付けを行い、振り返りをロイロノートのワークシートに記入させる。



↑
振り返りでは自分の動画を貼り、教師・児童が見えるようにしておく。

3 まとめ

- ①集合し、ケガの確認をする。その後、着席する。
- ②全体で振り返りを行い、本時のねらいが達成できたか確認する。
●次時の目標を立てさせる。ロイロノートのワークシートに記入させる。
- ③自分が跳べた動画をロイロノートの提出箱に提出する。
●教師は共有をオンにして、児童同士が見えるようにする。

授業者から(成果・課題・留意点)

- ・友達のコツ(ポイント)に触れることができることから、より友達と助け合いながら挑戦しやすくなった。
- ・自分の姿を撮影することにより、できているところやできていないところ、見本と違うところなどが可視化できるようになった。
- ・教師がアドバイスを直接コメントし、児童は自分が跳んでいる動画を残しておくことで、ワークシートを見れば自分の成長をより感じることができ、いつでも見返すことができる。